

会報 まつもと64号



令和4年11月17日 発行

(公財)長野県長寿社会開発センター 松本地区賛助会

松本市島立1020 松本保健福祉事務所福祉課内
発行責任者 小林直美 発行部数 600部



長野県 烏川 溪谷 緑地
☆自然探求とウォーキング施設・
安曇野市 穂高牧・堀金地区

支部長着任ごあいさつ

新しく支部長が着任されましたのでご挨拶をいただきました。

本年7月5日付けで松本保健福祉事務所福祉課長として着任し、(公財)長野県長寿社会開発センター松本支部長兼事務局長としてお世話になることになりました。

松本地区賛助会の皆様には、日頃から、賛助会の活動やセンター事業に多大なご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が確認されてから3年目を迎え、行動制限や自粛が求められイベントの中止などが余儀なくされた時代も、感染症の特性や拡大状況等を踏まえた対策を講じることにより、かつての日常を取り戻しつつあります。

こうした中、賛助会におかれましては、3年ぶりに総会が開催され、新たに組織された執行部会により活動が推進されています。また、令和2年度に1年間の休講を余儀なくされた長野県シニア大学松本学部も、本年度は約90名の新生を迎えスタートすることができました。

今後とも、小林直美会長を中心に、賛助会が、生きがいきづくり・仲間づくり・健康づくりの拠点として、益々発展されますことをご期待申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健康ご多幸を心よりご祈念申し上げ、着任のあいさつとさせていただきます。

(公財)長野県長寿社会開発センター松本支部 支部長兼事務局長 朝倉 勝利



三世代文化交流大会中止について

長寿社会開発センター松本支部と松本地区賛助会共催の、三世代文化交流大会が今年度も中止となりました。第1回が平成19年(2007年)に始まり、令和元年(2019年)の13回連続してきました。その後、コロナ感染拡大に伴い三年連続の中止となり残念でたまりません。先輩方のお話を伺うと、この大会が始まったころ、無差別殺人、虐待、いじめなど世の中に悲惨な事件が多発していたことや、核家族化が進み三世代の同居が少なくなり、家族愛が薄れていたとのことでした。そこで、シニア世代として、なにができるのかを考え、家族愛や地域の絆の大切さを認識して、三世代文化交流大会を企画したとのことでした。地域の絆として、松本市河西部地域の連合町会様・法人会員様・県看護協会様・市民タイムス様・島内保育園様・島内小学校様のご協力を得て発足しました。毎回、趣向を変えて、色んな方にご出演頂きました。ご出演内容としては、地区賛助会のグループ発表・人形劇・日本舞踊・詩吟・コーラス・マジック・ハーモニカ演奏・吹奏楽・文化箏・尺八演奏・ピアノ演奏等多彩な出し物で、松本音文ホールで、楽しいひと時を過ごしてまいりました。コロナ感染が無ければと悔しい限りです。今後継続させたいですが、コロナ感染で開催出来なければ、代替りのことを考えなければなりません。継続の為のお知恵を皆さんからお聞きしたいので、ご協力お願いします。



松本地区賛助会副会長 (三世代文化交流大会実行委員長) 小岩井定男

☆事業・行事の報告

1, 松本地区賛助会マレットゴルフ交流会

- ☆ 開催日 令和4年8月31日(水)
- ◇ 会場 安曇野市水辺マレットゴルフ場
- ◇ 主催 アルプスマレットゴルフクラブ
- ◇ 参加人員 36名

台風が接近し天候が心配されましたが好天に恵まれ大勢の参加者によりグループ交流会ができました。

水辺マレットゴルフ場は 初回参加者が多く 地元の熟達者との交流大会となりました。マレットゴルフは、長野県ゆかりのあるスポーツでありシニア世代には健康維持に最適な運動です。会場の水辺マレット場は、安曇野インターに近く犀川河川敷のフラットコース。常に整備が行き渡っている快適なマレットゴルフ場です。隣接北側は、冬期白鳥の越冬地になっている景観地です。

◇入賞者



大会入賞者



《常時整備良好 平坦な河川敷コース》

男子会員	お名前	地区名	女子会員	お名前	地区名
優勝	鷲澤 暢夫	豊科	優勝	桜井 陽子	豊科
準優勝	峯村 宏	穂高	準優勝	江尻 初子	豊科
三位	福岡 政博	松本	三位	仁科 昭子	豊科

2022 信州ねんりんピック

① 文化・芸術交流大会(オンライン交流会)

開催日 令和4年9月17日(土) 長野市ホクト文化ホールを主会場に、南信地域3か所にサテライト会場を設置し、オンラインでの交流会を開催しました。

② 本年度のテーマは「未来へつなごう」豊かな風土と伝統文化、南信地域のシニアの活動を紹介します。当日の様子こちらからYouTubeでご覧いただけます。 →



③シニア作品展(高齢者作品展)

開催日:令和4年9月23日~25日 長野県飯田創造館にて開催
松本地区賛助会入賞者は下記の通り。

洋画の部:福岡政博(長野県シニアクラブ連合会会長賞) 流木

書の部門:宮本祥江(奨励賞) 種田山頭火の句「月のぼりぬ 夏草々の香を放つ」

◎行事中止について

☆第16回三世代文化交流会

- 1, 松本市音楽文化ホールのコロナ対策使用基準が交流会事業に対応出来ない。
- 2, コロナウイルス禍が解消せず年齢構成を考慮しグループ長会の決議により中止。

☆今後の対応

- 1, 予算の状況からも今後の開催には、現状維持は無理な状態となっている。
- 2, 会員の交流会と三世代交流会につき次回検討会(令和5年2月)にて決定する。

松本地区賛助会役員等の変更について

執行部委員の変更

旧 中嶋 千恵 (墨友会) 新 佐藤 陽子 (チャームシルク)

松本城案内グループ長の変更

旧 山本 英男 新 齋藤 孝資

『燦久会』グループの活動をご紹介します。

豊かで活力ある高齢化社会の構築と発展に寄与し、会員相互の交流を深める目的で松本学部 39 期卒業生が中心となりグループを結成。39 期生以外の方の参加を願って燦久会と名付けました。

現在は、文化・スポーツ・ボランティアなどの部会毎に活動したり、会員相互の交流会なども行っています。

会は 10 の部会からなっていますが、以下にその内容を簡単にご紹介します。

- ① 料理部会（毎月第 3 水曜日、松南地区公民館調理実習室）
- ② ウォーキング部会（年 8 回活動、第 3 木曜日）
- ③ マレットゴルフ部会（年 9 回活動、第 3 または第 4 月曜日、松本市内 5 回、安曇野市内 4 回）
- ④ カラオケ部会（毎月第 3 水曜日、コミックバスターズ南松本店）
- ⑤ 雀友会（毎月第 2 日曜日、松本市島立ふくし広場）
- ⑥ ボーリング部会（年 10 回活動、第 4 火曜日、ココレーン松本）
- ⑦ ゴルフ部会（年 5 回活動、4 回コンペ、松本地区唯一のゴルフサークル）
- ⑧ 旅行部会（年 1 回、今年は、新潟の酒倉朝日 朝日酒造「久保田」と燕三条）
- ⑨⑩ ボランティア部会
（⑨カラオケ教室：年 50 数回活動、松本市内・朝日村内のデイサービスセンター、特別養護老人ホーム・グループホームなどを訪問してカラオケ教室を実施）
（⑩再生トリオ：松本市内の児童館の営繕・電気製品の修理など）

参加者数：2020 年は延べ 1,100 余名、2021 年は延べ 700 余名。

全部会で会員募集中、体験参加大歓迎。但し料理部会は仲良し 2 名以上で。

お問い合わせ・申込先：井



◎行事計画・事業計画

1 松本地区賛助会 作品展 シニア大学とのコラボ開催

新型コロナウイルスの為、3年ぶりの開催です。今回はシニア大学生の作品も展示する共同作品展です。日頃のグループ活動の成果発表に期待しております。又、会員皆様の作品の出品を期待いたします。

- ① 日程 令和5年1月16日(月)~1月27日(金)
- ② 場所 松本合同庁舎・一階ロビー展示場
- ③ 作品 絵画・水墨画・書・陶芸・写真・俳句・短歌・手工芸
- ④ 応募について
 - (ア) 『応募票』の提出 64号会報 同封の『応募票』を利用して下さい。
 - (イ) 担当:賛助会活動推進委員会
 - (ウ) 申込:飯沼推進委員長 令和4年12月12日(月)まで
- ⑤ その他
展示スペース状況により作品の交換展示がある。また期間が変更となることがある。

お知らせ

☆三世代文化交流会検討委員会報告(9月より執行部会と2回合同開催)

- 1 役員の任命 グループ長会において執行部会役員とグループ長4名の14名構成
- 2 現状の分析 予算的にも現状内容事業は開催不能。
- 3 事業継承と代替え事業について
 - (ア) 利用可能な会場・時期・事業内容・招待グループの可否
 - (イ) 魅力ある賛助会の構築を考慮し令和5年2月に結論を出す予定です。

☆シニア大学の講座の聴講について (定員30名)

- 1 日時:令和4年12月19日(月)AM10:00~12:00
- 2 講師:岡村 律子 様 松本医師会 医師
- 3 講座:人生会議・リビングウィルについて話し合いをはじめ
- 4 申込:飯沼推進委員長
- 5 締切:令和4年12月12日(月)(定員になり次第締め切り)

松本地区 法人賛助会員

(法人会員番号順に掲載)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ○松本倉庫 株式会社 | ○株式会社 長野銀行 |
| ○一般社団法人 長野県薬剤師会 | ○公益社団法人 長野県看護協会 |
| ○松本信用金庫 | ○アズサイエンス 株式会社 |
| ○株式会社 プラルト | ○長野トンボ 株式会社 |
| ○平成交通 有限会社 | |

法人会員は、明るく、夢広がる、豊かな「人生100年時代」の実現のために(公財)長野県長寿社会開発センターの事業や活動をバックアップされています。

編集後記

賛助会員の自然な減少傾向に歯止めがかからない上に、コロナ禍でシニア大学の入学生・卒業生の減少が重なり、新規賛助会員数はさらに減少が予想されます。また、全国的な社会・文化・スポーツ諸活動の自粛・縮小化の中で、わが賛助会松本支部においても、その活動は大幅に制限された状況にあります。賛助会松本支部の大きな活動の一つである「三世代交流会」の開催が2年連続中断されるなど、with corona・post coronaの世情のなか、様々な困難に直面しています。

賛助会活動の活性化には執行部と一般会員の一体化が不可欠であり、まだまだ、総会や交流会に参加していただく余地が大いにあります。先般ウオーキング交流会への参加を学生に呼びかけ、賛助会の活動の一環を体験していただきましたが、活性化のためにはここが知恵の出どころだと思います。

今年度、組織の改編で執行部員になり、賛助会松本支部の苦しい内情を実感するに至りました。長寿社会開発センター本部と各地区賛助会との話合いのなかで、目指す方向がやや異なっていることが認識され、改善の一つとして本部へ提出する書類の簡略化を行い各グループ長の負担が軽減されました。しかし、まだまだ課題が山積しているように思われます。

改めて、執行部と会員の一体化醸成のため新しい試みに挑戦せざるを得ないと実感しています。(I N.)